

授業科目名・形態	精神保健福祉援助技術各論Ⅰ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	石岡 和志・阿部 俊彦	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

精神科医療の特性を踏まえた、精神保健福祉専門職としての支援や相談援助の展開における基本的な考え方と必要な技術について学び理解を深める。

【到達目標】

- 1) 精神保健福祉の歴史と動向について説明できるようになる。
- 2) ソーシャルワーカー（精神保健福祉士）の価値について説明できるようになる。
- 3) 精神障害者支援における面接技法について説明できるようになる。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション 精神保健医療福祉の歴史
- 第2回 精神保健医療福祉の歴史と動向 (1)
- 第3回 精神保健医療福祉の歴史と動向 (2)
- 第4回 精神障害者支援の基本
- 第5回 精神保健福祉士の精神障害者支援 (2)
- 第6回 精神保健福祉士の精神障害者支援 (3)
- 第7回 精神障害者の支援モデル (1)
- 第8回 精神障害者の支援モデル (2)
- 第9回 相談援助の価値前提と原則 (1)
- 第10回 相談援助の価値前提と原則 (2)
- 第11回 相談援助のプロセスと援助関係 (1)
- 第12回 相談援助のプロセスと援助関係 (2)
- 第13回 相談援助のための面接技術 (1)
- 第14回 相談援助のための面接技術 (2)
- 第15回 まとめ

【授業実施方法】

講義形式。本授業はコンピュータやプロジェクタを用いて、視聴覚プレゼンテーションの形式（スライド・映像等）で行う。また、学生の授業への積極的な参加を目的としてグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを適宜実施する。

【授業準備】

精神保健福祉士国家試験必須科目である。授業計画で指定したテキストの範囲を事前に読んでおくこと。

【主な関連する科目】

精神保健の課題と支援Ⅰ・Ⅱ、精神保健福祉制度論Ⅰ・Ⅱ、精神保健福祉援助演習

【教科書等】

- 古屋龍太（編）：精神保健福祉士シリーズ5 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ，弘文堂，2016
- 坂野憲司（編）：精神保健福祉士シリーズ6 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ，弘文堂，2016

【参考文献】

特になし。テキスト以外に必要なものは授業で紹介する。

【成績評価方法】

成績評価は試験（70%）、レポート提出や授業への取り組み姿勢（30%）で総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉事務所で精神障害者の支援を経験。現場での経験を精神障害者の「ケアマネジメント」に活かしたい。

【学生へのメッセージ】

履修学生は予習と復習を行うことで、科目の理解度を深めるように。